



1. 事業概要

実施主体	一般社団法人大島観光協会
連携する地方公共団体	東京都 大島町
その他連携する団体等	伊豆大島椿まつり実行委員会、大島旅客自動車株式会社、トウオンデザイン、Joint-Farms/WINE ISLAND、Hale海、(株)グローバルネイチャークラブ、戸井商店(電動アシスト)、(有)高田製油所、ジオパーク推進委員会、(株)大島牛乳、大島ふるさと体験館、大島じてんしゃ協会、東京サイクリング協会、にわサイクリングツアーズ、農家れすとらんおばあ、東海汽船(株) 大島営業所、オレンジフィッシュ、(株)阪急交通社、(株)マインドシェア
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「大島町独自の特産物や郷土料理、食文化、景観を一体的にブランド化した観光活性」手法である「フードトレイル」を取り入れ、「ジオパーク」と「食文化・食材」に関する来島目的の強化、キラーコンテンツ化を行うものである。ジオパークのガイドをフードトレイルガイドとして育成し、開発したプログラムは、島内最大の椿まつり時に同時開催し、キッチンカー等でフードトレイルを体現する新しいメニューの開発、提供を行い、プログラム参加の誘客を行う。 ・ターゲット層は、好奇心旺盛で学習意識の高い40代以上の大人、春夏に多くなる学生やファミリー層、将来的にはインバウンドを想定 ・プロモーションとして、SNSの強化と、ツアー造成・集客時の阪急交通社による新聞や会員誌、メルマガ等を実施
事業スケジュール	<p>11月～2月：推進会議体の設置、ガイドラインの告知、運用、徹底実施</p> <p>11月～12月：感染防止ガイドライン作成、研修／「フードトレイル」ルート、プログラム、新メニュー等の開発／電動ママチャリとガイド体制の整備</p> <p>12月～2月：大島フードトレイルモニターツアーの造成、集客、実施、アンケート／情報発信次年度実施に向けた改善策及びアクションプラン作成、実行</p>

火山島で暮らす
乳牛商品



電動アシスト付
自転車による
二次交通提供

<「新しい生活様式」の実践を意識する点>

- ・さまざまな組織が発行しているガイドラインを参考に、本事業推進シーンでの感染リスクを洗い出し、対応方法を本事業実施体制メンバーで確認、対応策を共有する研修等を行う。本事業推進用「新型コロナ対応ガイドライン」は、作成後も常に改善していき、モニターツアーで実際に検証を行う等、確実な運用を実施する。
- ・フードトレイル自体が分散連携型の資源活用であることや、二次交通手段を電動アシスト自転車とすること、PR場所として、屋外でのキッチンカー利用等で、感染リスクを大幅に減少できる施策となっている。

<取組の新規性・独自性>

【新規性】大島フードトレイルとして、生産者、加工所・工場等製造現場、飲食店、小売り、ジオパーク等、観光事業の多様なステークホルダーが一体となって、フードトレイルルート、プログラム等を開発。

【独自性】火山島であるための気候や風土、川がないことによる水の確保の難しさが本島の暮らしにはあるため、本島で生産される牛乳や椿油、椿、くさやなどの食文化やその美味しさの秘密が隠されているジオパークをフードトレイルとして他産業も含めた観光産業として一体的に活性化する。

2. 地域の現状・課題および事業実施により期待される効果

【地域の現状・課題】

東京から高速船で1時間45分、2010年9月に伊豆大島ジオパークの認定を受けた火山島ならではの壮大な自然や島に自生する約300万本の椿が見られる常春の伊豆大島では、最大84万人の来島者を数えた昭和48年から観光客は減少の一途をたどり、現在では4分の1以下の20万人台に落ち込んでいる。観光誘客は緊急かつ重要性が高い課題である。

【期待される効果】

- 1) フードトレイルとしての実施による観光産業のすそ野と経済波及効果の拡がり
- 2) 島内全体の事業者との連携により、地域全体としての観光収益をあげていく
- 3) フードトレイルで伝わる大島の魅力のファンづくりによる継続した消費拡大

3. 次年度以降の取組

- 今年度の実証を受けて改善策の検討と、次年度開催に向け作成したアクションプランを実行する
- 作成したプログラムについて、他旅行社への営業や町における独自販売等を実施する
- 阪急交通社は、次年度も中身を改善しながら継続実施を約束、観光協会と協力しながら実績を共有する
- 季節性等でリピーターを獲得していくツアー内容も開発し、通年での集客に努める

4. 一次公募からの改善点

- 一次公募事業名称：大島の「食」を知る・味わう・愉しむ滞在コンテンツ造成&ツアー開発と、withコロナ期に合わせた大島の食文化とヒトを感ぜられる滞在観光の環境づくり。
- 二次公募の改善点
 - ① **フードトレイルの考え方で他産業も含めた観光産業として一体的に活性化させる施策**とした点
 - ② 宿泊施設、飲食施設、ガイド、食品製造・販売事業者、FIT旅行社等多数の関係者を巻き込んで**フードトレイルが実施できる体制に強化**した点